



国際ロータリー第2510地区・DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

2002-2003 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.12

ガバナー月信

6月号
June

2002-2003年度ガバナー GOVERNOR **小林 博 KOBAYASHI HIROSHI**
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館6F 電話 011-219-2510 Fax 011-222-1526 E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp
Odori-West 6, Ishikai Bldg. 6F, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0042 Japan Tel.81-11-219-2510 Fax.81-11-222-1526
E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp



ガバナーレター



小林 博

ロータリーに入って何が一番良かったか？

「ロータリーに入って何が一番良かったか」と自問自答することがある。各人各様の受け止め方があるだろうが、私の場合はロータリーに入ったことで、たくさんのロータリアンの友人を持てたことではないかと思っている。今まで自分の仕事の専門分野での付き合いは多くあったが、それ以外の人達、特に性別、年齢、職業が違うだけでなく、かなり異なる価値観を持つ人達との付き合いの中から、相性良く仲間になれたのもロータリーという組織があり、そこにいったお陰と感謝している。

ただ、100人以上の大きなクラブならいざ知らず、小さなクラブの人達はそういう機会が限られてしまう。交際し得るロータリアンの数に限りがあるからである。そこでどうだろうか？ 自分のクラブに限定しないで、同じグループ内を広く見渡し、メイキャップするなどして他のクラブの人達との交流の機会を得るように努力されてはいかがだろうか。

さらにチャンスを求めて他のグループとの交流を深めることが出来ればまことに申し分ない。幸い私の場合はガバナーのご指名をいただいたお陰で、限られた範囲ではあっても地区内のすべてのグループ、すべてのクラブのかなり広い範囲の方々と知己を得たことは何にも代え難い大きな財産になったと思う。この財産は何としても大切にしていかなければと自分自身にきつく言い聞かせている。

ロータリーで違った価値観の人達が、奉仕という1つの目標に向かって突き進めることは何としても素晴らしいことである。趣味の友達とか気の合った遊び友達との交友とは違う。多様な価値観の人達が大きな目標に向かって一緒になって歩み続ける緊張感がある。そこには人生の使命感とか自らの生き甲斐にも通ずる崇高なものがあり、これをロータリーの心の拠り所として求める人も少なくないのである。

6月はロータリー年度の最終月間で、「親睦活動月間」である。この月間はもともと趣味・職業別親睦活動月間となっていた。今は単に親睦活動と言われている。国内のロータリーだけでなく、外国の地区の人達との親睦活動を意図した月間でもある。また、国際的に「友情交換委員会」を設立するようにとのRIの推奨もいただいている。こうやって広く海外の多くの人達とも友情を深め、交流を深め、奉仕に向かって共通の価値観を持てる多くの友人を世界中につくっていける。これは何と楽しいことか。こういう活動が続く限りロータリーはいつまでも明るく発展すると信ずる。

目次

ガバナーレター	小林 博	2	新旧ガバナー補佐引継ぎ会議及びガバナー補佐座談会のご案内	17
ビチャイ・ラタクル会長来道歓迎会		3	新旧地区委員長引継ぎ会議のご案内	17
「国際レベルのロータリー・プログラム」について			ダヤシリさん歓迎会のご案内	17
	野口 信夫	4	第12回GSE派遣メンバー決定	18
ガバナー日記		5	クラブ活動紹介	19
ロータリーQ&A		9	栗山RC・七飯RC・札幌幌南RC・えりもRC・岩見沢RC	
2004年国際大会（関西）の登録料が決まりました		9	ロータリー財団への寄付状況一覧（全国地区別）	21
文庫通信		9	会員の声	21
地区活動紹介		10	ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	22
青少年交換委員会・職業奉仕委員会・川田憲秀・家庭奉仕委員会・友情交換委員会・米山道男・米山学友会			掲示板	22
アンケート調査の結果と分析（最終回）		14	訃報	22
第4回ワークショップの報告		16	事務所だより	22
第5回ワークショップのご案内		16	4月会員増減数・出席率報告	23
			6月地区カレンダー	23

ビチャイ・ラタクル会長 来道歓迎会

4月25日、15年ぶりに来道された歓迎会には、2510地区、2500地区の700名近い会員が参加しました。ビチャイ・ラタクル会長によるスピーチの要旨を紹介します。

慈愛の種という言葉の意味をよく質問されます。

自分自身の過去の経験で、1958年に入会はしたがその当時は例会出席と会費を払うだけのメンバーであったのであり本当の意味でロータリアンではありませんでした。「キッカケ」はある時、クラブの奉仕プログラムに、週末に母子家庭の子供との海水浴ボランティアに参加した時から始まりでした。週末ぎりぎり、私は休日は自分で過ごしたいという気持ちがありましたので、当初参加を断っていたのですが、予定していた他のメンバーの参加がキャンセルになり、結局私がしぶしぶ参加する事になったのです。

3人の子供を車に乗せてパタヤビーチで海水浴に行くのですが、隣に座った子供は汚くて私はあまり近づきた

くなかったのですが、子供から近づいてきたのです。

海岸ではその汚い子供は誰も遊ぼうとしないで1人で孤独に過ごしていました。

その時、私が理解したのは、その子供は私と遊びたいのだという事を。そして、彼とは一日間一緒に遊び、プログラムが終了して帰宅した時に、薄暗い中でその子供と別れる時お互いに涙を流し、「もし貴方が本当のお父さんだったら良かった」という言葉を子供から聞いたから涙が溢れたのです。それが、私のロータリアンとしてのターニングポイントでありました。それは「慈愛の種を播いた」スタートと思っています。(ロータリーマジック)

奉仕活動の中に「慈愛」がなければならないと考えました。

とにかく、新しい会長年度が近づいている中で、来年度も「慈愛の種」を播き続けていただくことを願っています。



慈愛を説くラタクルRI会長



両地区からの贈り物(最新の最高デジタルカメラ)



小林ガバナーとラタクルRI会長



ラタクル会長挨拶



伊藤義郎元RI理事挨拶

「国際レベルのロータリー・プログラム」について



パスト・ガバナー 野口 信夫

一昨年の『ロータリーの友』9月号に、同年4月に開かれた規定審議会の議長を務められたクリフ・ダクターマン元RI会長の談話が載っていました。その談話の中に次のような部分がありました。

「ポリオ・プラスの後のプログラムについて、RIに検討を求める決議案を審議会が否決したことに驚かされた」と言うものです。

これを読んで、私は一つの大きな疑問を感じたのです。それは、ダクターマン元RI会長が、ポリオ・プラスの後に続く巨大プログラムの第2弾が、当然議題に上がるものと考えておられたと言う事実に対してです。

今やっているポリオ・プラスのプログラムは、ロータリー創立100周年を記念する世紀の事業として、世界中のロータリアンが率直に受け入れ、ポリオ撲滅の成功を祈ってこれに協力してきたものであります。

けれども、こうしたことが今後も続く定例的なプログラムとなると、それはまた別問題ではないか、と言うのが私の疑問です。

その昔、1913年にエリリアRCのエドガー・アレンと言う人が、身体障害児の総合対策事業を強力に推し進めるためにロータリー・クラブに入り、その仕事に没頭した結果全米の多くのロータリー・クラブがこれに協力するようになり、ロータリーがこれで良いのかとする理論派と、気の毒な子供達の為に全力を尽くすと言う実践派との間に大論争が巻き起こったのです。ロータリーを二分するような混乱を前にして、RI理事会は1923年のセントルイス大会で「23-34決議」を採択し、漸くこの論争に終止符を打ちました。

手続要覧第6章「社会奉仕」の始めに、社会奉仕活動に対する方針と言う表題があり、これは“社会奉仕に関する1923年の声明”と、これと同じく“1992年の声明”の二つから成り立っています。

先ず“1923年の声明”ですが、そこには国際ロータリー（以下省略してRIとします）とロータリー・クラブ（以下RCとします）のあり方を示しています。その5)を参照して下さい。「RCはクラブとして関心があり、またその地域社会に適した社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利を持っている。しかし、如何なるクラブも、ロータリーの綱領を無視したり、RC結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない」として、RCの持つ権利と責任を明示しています。

そしてRIは、「一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与えることはあっても、しかし、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする」と言うのです。

また、“1992年の声明”はその後の変化に対応して、この年の規定審議会で採択されたものですが、RIのRCに対する働き掛けについて、示唆が勧奨に変わった程度ですが、ただ一つ気になるのは、「国際レベルのロータリー・プログラムの活動を通じて社会奉仕プロジェクトを強化する機会を確認すること」と言う一項目です。

この「国際レベルのロータリー・プログラム」とは、なにを指すのでしょうか？

ポリオプラス街頭募金活動のお知らせ

札幌大通公園RC会長 木津敏彦
札幌大通公園RCポリオプラス組織委員会

札幌大通公園ロータリークラブでは、ポリオ撲滅募金活動を進めるにあたり、小林ガバナーをお招きしてポリオについて学習会の実施や、ポリオ組織委員会を設置して検討してきたところです。

このたび、実践することに意義があると考え、以下のように街頭募金活動を行うことになりました。

標語：1. 300円で15人の子供を救えます。悪魔のポリオから。
2. なくそうポリオ、始めよう助け合い。

日時：平成15年6月15日(日) 午後1時～4時

場所：三越百貨店前もしくは大通公園4丁目(北海道神宮祭のため流動的に設定)

当日は、当クラブの会員が募金活動を行っておりますが、ロータリアンの皆様のご参加も歓迎いたします。

ガバナー日記

ロシア勉強会始まる

ロータリーの5010地区（2510地区ではなく5010！）はウラル山脈東側とサハリン、カムチャッカ、アラスカの一部を含む世界でもっとも広大な地区の1つである。サハリンには既に3つのロータリークラブが誕生し、故富山惟夫PG、石垣博美PG、米山道男地区幹事などがかつてこれらのクラブを訪問したことがあり、すでに友好関係が結ばれている。また、近く数名の地区ロータリアンがサハリンを再度訪問する計画もある。こういったことは国際奉仕に関わるロータリアンの草の根の活動の1つであり、RIラタクル会長の言われるボトムアップの象徴でもあり、まことに結構なことと思う。

国際奉仕委員会のもとに友情交換委員会があるが、この委員会の中の新たに始まった国別部会では、いろいろな国々に関わる豊富な人材がわが地区にたくさんおられることでもあり、あらゆる角度の国際奉仕を是非活発な活動を進めていただきたいものである。

ロシア部会は他の国々に比べ特に準備が先行してきた。これは札幌セントラルRCの長谷川久夫会員というロシア通のベテランがおられるお陰と思うのだが、5月6日（火）には札幌グランドホテルでサプリン在札ロシア総領事ら（挨拶のあと退席）を招いて懇談会が開かれた。

ロシアだけでなく、オーストラリア、スリランカ、タイなどにも具体的な勉強、交流、支援が行われている。

その他の全ての国々についても友好をめざして積極的な勉強会が欲しいと思う。いずれの国ともロータリアンの節度ある範囲内で関係者のコンセンサスを得ながら着実に一步一步前進していきたいものである。



挨拶のサプリン総領事、挨拶のあとすぐ退席された（長谷川久夫会員撮影）

やはり家庭を考えよう！

「自分の家庭については特に何も考えたことがない」と言うロータリアンが意外と多い。誰だって無意識のうちに家庭を案じているのだろうが、それを表だって気にすることは余りないようだ。

家庭奉仕委員会がわが地区に出来てから1年に近い。和田壬三委員長熱意ですでに数回の勉強会がもたれ、また、第4・5グループ合同のIMには初めて家庭のことが話し合わせ成功であったと思う。現在は十分幸せだから、と言えばそれまでだが、家庭のことは話し合えば合うほど、段々面白くなって将来への展望も見えて来るように思う。

そんな折り、5月9日（金）pm6:00から「家庭」についての第3回ワークショップが函館の国際ホテルで開かれた。集まった人は第10・11グループの遠藤哲二（函館RC）、松見修二（函館北RC）の両ガバナー補佐をはじめ、クラブ会長・幹事・社会奉仕委員など35名。テーマは「日頃心がけている家庭奉仕」、「心がけたい家庭奉仕」（家族との共有体験、コミュニケーションなど）である。

和田委員長の発案で参加者全員が自己紹介とともにテーマに沿い各自の家庭への奉仕の現状と理想を語り、後半は全員の討論となった。池上公介会員（札幌モーニングRC）、土橋信男会員（札幌幌南RC）、土橋芳美さん（土橋会員ご夫人）のアドバイスによって議論も盛り上がった。残念ながら時間制限で夜9時に終了。



ワークショップ終わってからの懇親会で、左から横内隆文会長（江差RC）、遠藤哲二AG（函館RC）、土橋芳美さん、鍋谷操子会員（函館東RC）、松本純枝会員（深川RC）、大場公孝会員（上磯RC）

今回のワークショップでふだん家庭を考えたことのない人も家庭の大切さについて何か気付かれたのではなかったと思う。今回の企画に出て良かった、あるいはロータリーに入って良かったとの参加者の声も少なからず耳にした。私自身、家庭奉仕についての話を聞くことで、いつもさわやかな興奮を覚えるのである。

最後に私は、みなさまは各クラブに戻られてから今回と同じような各自の家庭を語り合う機会を作っていたいただきたいとお願いした。そんな試みによって、これまで何となくタブー化されていたお互いの家庭観が見えてきて、それでまた会員間の親近感が一段と深まるのではないかと思うのである。

美唄は30年おめでとう！

人間の30歳といえば一番働きざかりの青年である。若いといえば若いのだが、30歳ではすでに老化が始まっているのも事実である。

美唄RC（大竹繁夫会長）の30年の式典とお祝いの会が5月10日（土）pm2：30から美唄市のホテルスエヒロで開かれた。周年行事の目的は、ただ飲んで食べて終わるのではなく、クラブ創設の頃の先人のご苦勞を偲び感謝の気持ちを思い起こすこと、もう1つはこれからの5年、10年、20年先のクラブをどのように発展させていくかの決意を新たにすることではないか。

式典の後、全員バスでアルテピアッツァという新設の彫刻広場に赴き、途中満開のさくらを鑑賞した。4時30分から祝賀会、井坂紘一郎美唄市長も参加。いつもながら人と人との不思議な縁を教えてくれるのもロータリーの隠れた魅力の一つと思う。

辻野修ガバナー補佐のほか次年度の佐藤秀雄ガバナー・エレクト、木村照男代表幹事エレクトも集まり、和気あいあいの家庭的な会であった。それと、美唄RCの後藤三雄会員とのご縁で北見紋別から約30人に近いロータリアンの友情参加があったのには感激した。



美唄RC30年 手に手をつないで。左端は井坂紘一郎 美唄市長。

IMをやるべきか否か

かつて12グループの川田憲秀AG（白老RC）は、IMをやらないと宣言していた。その理由は設営の苦勞もさることながら、多額の費用に見合っただけの成果がないのではないかと危惧からだった。



熱弁の川田憲秀AG（白老RC）

ところが、IMがなくともそれに代わる何かがあってもいいのではないかと、グループ内でその後いろいろの意見交換があったようだ。その結果、グループ内の4クラブ合同例会が5月12日（月）pm6：00からホテルニュー王子で開かれた。簡単な挨拶だけで余興など一切ないスマートなものであったが、和気あいあい楽しい会だった。ちなみに次年度IMはすべて原則中止とのこと。それでは淋しいとの声もあり、ただ中止ではなくIMに代わる何か新しい企画を創り出していけばよいのではないか。



あれ!! 見たことある垂れ幕。地区大会のときのものをそっくり借用。さすが賢い!!

職業奉仕のひとつ？

自分の職業を通して社会の皆さんにお役に立つようなことをするのが職業奉仕の1つである。かねて札幌東RCの奥貫一之会員から当クラブの職業奉仕・社会奉仕委員会主催で社会福祉法人北海道リハビリのデイケアに来られる近隣の方々に私の専門のがんの話をして欲しいとの依頼があった。5月15日（木）午後、清田区の一角にあるこの施設に着いたところ、清田RCの阿部哲夫会長、江口洗幹事はじめ数人もお見えになり、札幌東クラブの会員、地域住民ともども総勢60人ほどの方々が私の話を熱心に聴いて下さった。タイトルは『私ができるがんの予防』ということで、難しい話は一切なしにして、どのような



生活をすればどのくらいのがんの予防効果が期待できるかということをお話した。話が終わってから質問が相次ぎ、皆さんの笑顔に支えられながら、時には笑い声をたてながら楽しく質疑応答をさせていただいた。がんは難しい病気だから話題にしたくないという思いが強いが、今ではがんはもっとも身近な病気になったし、これといかに上手に長く付き合っていくかの知恵が試される時代になってきたと思う。

終わって御礼にということで、福祉施設に通う方々が作られた大小色々な柄の布袋を何点か頂戴した。また、子ども達が作ったカラフルな布袋もいくつもプレゼントされた。子ども達が慣れない手つきで苦勞して作ったんだなあと思いながら、見事な出来映えに驚くお土産であった。こんなお土産はほんとに心から嬉しく思う。

小粒ながら立派！

岩見沢東RCの20周年記念式典並びに祝賀会が5月17日(土)に岩見沢平安閣で行われた。岩見沢東RCは現在34名で世界の平均会員数よりは若干少ない。しかしその活動内容を見ると、坂田知樹会長が国際的事業を展開したり、金子賢一実行委員長が日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会の実行委員長を務められたり、また車椅子財団(7170地区)に車椅子50台を寄贈したり、タイ・バンコクのパヴェナ基金に30万円を寄贈したりしている。さらに今回、市内の光が丘学園(社会福祉法人)、岩見沢サッカー協会、岩見沢青少年育成基金にもそれぞれ多額の寄付をされている。そのめざましい活動は何度か月信で紹介されたとおりである。

金子賢一実行委員長が「小粒なクラブではありますが」と言われたその言葉の中には、小人数ではあっても大人数のクラブに負けないだけのことはやっているという自信のほどを紹介されたと思う。また、坂田知樹会長は「ロータリーの原点を見つめ直そう」と力説しておられた。数多くあるロータリークラブの中で岩見沢東RCは、今後とも「小粒ながら」ロータリーの原点を見つめながら着実に発展していくと信ずる。頼もしい限りである。これぞ本当に20年おめでとうである。



手に手をつないで、左から坂田知樹会長(岩見沢東RC)、武蔵信一会員(岩見沢RC)、金子賢一実行委員長(岩見沢東RC)、佐藤秀雄GE(千歳RC)、辻野修AG(当別RC)

最後の最後のIM

今年度は第12グループを除き都市連合会(IM)は実施してきたが、次年度はIM形式の集会はない。第1・2グループ合同のIM(5月24日(土)、赤平文化会館)は名実ともに最後のIMとなった。世話役は第2グループガバナー補佐の藤原税会員(赤平RC)、ホストは赤平RC(赤川清介会長)だが、第1グループ(吉本勲ガバナー補佐)のみなさんとともに積極参加。懇親会には20数名の美女コンパニオンも加わり、地区最後のIMを盛り上げてくれた(次頁写真)。

今回のIMのテーマはポリオ。国際医療協力で我が国を代表する専門家の千葉靖男先生(札幌医大卒)の『世界ポリオ根絶計画の進捗状況と課題』の記念講演。とくにインド、パキスタンなどのワクチン投与の現場の写真は圧巻だった。ポリオを患った四肢麻痺の気の毒な子ども達の姿は決して他人事ではない。千葉博士は未だに流行する地区のポリオは、医療対策の遅れというよりはむしろ貧困が原因だという。貧困であれば手洗いする場もなく、もちろん下水道もなく糞便と共存するような生活環境からポリオウィルスの経口感染は絶えることはない。山間僻地のほかに部族紛争とか内戦とか治安の悪化が加われば、ポリオ撲滅は益々難しくなる。言うなればポリオは政治経済の落とし穴の中にある。

歩行が不可能な子供達
(千葉博士提供)



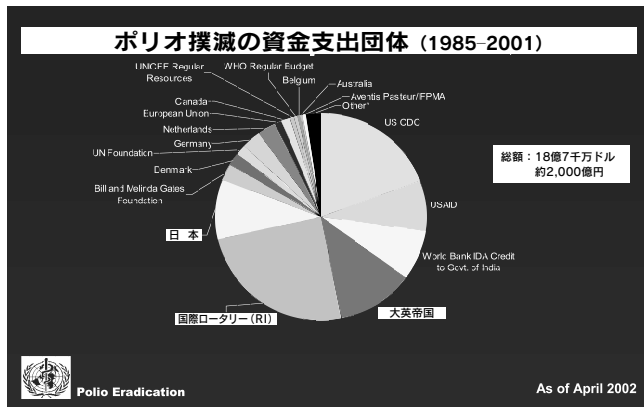
一度でいいから起きあがってご飯を食べてみたい

地区のポリオキャンペーン担当の城木浩一地区広報委員長（札幌北RC）は記念講演に先立って、ポリオ撲滅宣言がなされた後なぜ改めてポリオが再登場してきたかの経緯説明と、ポリオ撲滅に必要な目標額の根拠をわかり易く解説いただき有り難かった。

50年前の日本はまだ発展途上国だった。当時の北海道は各地にポリオが流行した。外国から呼吸麻痺に陥った

子ども達を救うための「鉄の肺」などたくさんの暖かい手を差し伸べてもらった。今度はわれわれがポリオ流行地の子ども達を助けてあげる順番なのではないか。

私はポリオで四肢麻痺に陥った1人の子どもの叫び声が忘れられない。「1度だけでいいから起き上がってごはんを食べたい!」というのであった。



ポリオ撲滅に提供された基金の1/3が国際ロータリーと日本政府からのものであった。（千葉博士提供）



ポリオワクチンの注射に赴いたところ。下水道はなく汚物と共存するような生活環境。銃を背にする人もいる。（千葉博士提供）



地区最後のIMのあとの懇親会。左から講師千葉靖男先生、吉本勲AG、赤川清介会長、1人おいて田中良一実行委員長（ともに赤平RC）、1人おいて神部洋史会長（滝川IRC）、村中俊二会長（深川IRC）、北正信会長（芦別RC）、1人おいて藤原税AG（赤平RC）

明日のエネルギーをどうするか？

面白いワークショップだった。第4回ワークショップ「明日のエネルギーを考える」は、山名善久（札幌南RC）、井上勝一（札幌北RC）の2人の司会で5月25日（日）、北大学術交流会館で行われた。日曜の午後で、しかも北大構内ということで集まったロータリアンは少なかったが、一般市民の参加もあり白熱した議論は大変参考になった。

ふだんエネルギーのことなど無関心できたが、これはいけない。これからの日本、あるいは北海道のエネルギー戦略はいかにあるべきかの関心を盛り上げていく必要があるのではないか？

4人の演者のうち井上勝一会員はエネルギーの健康と

の関わりのこと、橋本信夫会員（札幌西RC）はエネルギーの文化史的背景、川田憲秀会員（白老RC）はエネルギーの実学的背景、村山正会員（札幌RC）のエネルギーの種別効率対比の話はどれも初めて耳にする興味深いものだった。原子力、風力、水力、火力、太陽熱、地熱など利害のからむ複雑な問題だが、成り行きまかせのいまの状況は何とも情けない。国家戦略の欲しいと思うのが、これは専門外なるが故の単純な夢なのだろうか？

それと1人ひとりのロータリアンがエネルギー消費の節減にもっと努力する必要があるのだろう。いずれにしてもいつか時間と場所を変えてもう1度是非やっていただきたい大切なテーマと内容だったと思った。

回答

・情報委員会委員長 亀井敏清
・ガバナー事務所

Q：人頭分担金・財団などロータリーではドル建ての支払いが多くありますが、為替レートはどこで決められ？ 市中相場との関係や改定基準のルールはどうなっておりますか？

A：（国際ロータリー日本事務局への問い合わせ回答）
為替レートは国際ロータリーで決定し各国に通知して来ます。改定基準は以前の手続要覧では5%の変動があった場合改定するとありましたが、現在は削除されておりますが、最近のレート変更の状況を見ますと、従来通り5%の変動でレート改定を実施しているようです。市中相場に合わせてレートを変更しますと、通知等の事務手続きが繁雑となりますので5%を目安としているようです。

（この1年間の為替レートの変動状況）

日付	市中レート	ロータリーレート
2002年 4月1日	133.15	130.00
5月1日	128.60	130.00
6月3日	124.45	130.00
7月1日	119.80	126.00
8月1日	119.95	120.00
9月2日	118.70	120.00
10月1日	122.15	120.00
11月1日	122.70	120.00
12月2日	122.85	120.00
2003年 1月6日	119.85	122.00
2月3日	119.95	122.00
3月3日	118.20	122.00
4月1日	118.25	122.00
5月1日	119.00	122.00
6月1日		116.00

（みずほ銀行日次データ参照）

2004年 国際大会（関西）の登録料が決まりました

●大会日程 2004年5月23日（日）～26日（水）

登録料	2003年12月15日まで	2004年3月15日まで	当日登録
・ロータリアンカップル	US\$400	US\$450	US\$500
・ロータリアン ・ゲスト ・19歳以上	US\$300	US\$325	US\$350
・ローターアクト ・財団学友 ・奨学生	US\$60	US\$80	US\$100
・18歳以下のゲスト ・YE ・インターアクト	US\$20	US\$30	US\$40

●2004年国際大会実行委員会事務局

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-25 久太郎町恒和ビル4F TEL(06)6258-0561 FAX(06)6258-0562 e-mail:sec@ri2004.com

文庫通信

188号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩ロータリアンの主張から(2)

- ◎「ポール・ハリス ロータリーへの道」 チェスリー R. バリー
ロータリーの友：1968・2月 4p
- ◎「会長独白」 佐竹郁夫 1978 8p
- ◎「短いロータリーの話」 大阪R.C. 1972 14p
- ◎「ロータリーにおける小さな教訓」 チャールス G. テネント
若松徳衛訳 [1979] 4p
- ◎「ポール・ハリスの口授」 中西 進 1985 2p
- ◎「新人のためのロータリー情報」 佐々木統一郎 7p
- ◎「道と術」 佐々木統一郎 3p
- ◎「多種多様の中の調和と個人の確立」 佐々木統一郎 1971 11p
- ◎「ロータリー発祥の背景」 佐々木統一郎 1975 19p
- ◎「献身的ロータリアン群像」 松本兼二郎
ロータリーの友：1979・1月 8p
- ◎「“発見”の歴史を回顧する ロータリー創立80周年にあたって」
ジョー・ニュージェント ロータリーの友：1985・2月 5p

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

地区活動 紹介

青少年交換研究会 青森会議



青少年交換委員会

委員長 清水慧子

4月26・27日ピチャイ・ラタクルRI会長をお迎えして第10回青少年交換研究会青森会議が開催されました。2日間にわたる全体会議、分科会は大変内容が濃く、しかもポイントをついた会議であったと思います。

1日目のパネルディスカッション、「青少年交換プログラム過去—現在—未来」、分科会「学生一人をホストするのにどうしてこんなにお金がかかる?」、「こんな学生なら何回でもホストしてみたい!こんな学生は二度とホストしたくない」、「交換学生、ホストファミリー、ホスト地区の間のトラブルは何故起きる?一回避しうるトラブル&トラブルの解決法」、分科会では私もサプリーダの一人として参加し各地区の問題提起に焦点を当て、皆で解決の糸口を探りました。

ピチャイ・ラタクルRI会長は記念講演でロータリー青少年交換プログラムの重要性を強調され国際理解、国際交流に青少年交換プログラムの果たす役割が如何に大きいかを情熱を込めてお話されました。「国際親善に一役を果たす青少年に慈愛の種を播きましょう」と心から私達を激励して下さいました。ラタクル会長の優しいお言葉に感銘し、満開の桜が懇親会により一層華やかさを添え、会場は深い感動に包まれたのでした。

2日目のパネルディスカッション「各国の青少年交換プログラムに学ぶ」では、当地区の交換相手地区でもあるアメリカオレゴン5100地区、台湾台北3480地区(前青少年交換委員長で現ガバナーのジミーさん)、そして韓国、日本の代表がそれぞれ派遣受入事業について述べ議論も白熱し、終始活発な意見交換がされました。今回の研究会では第1回ROTEX全国会議が開かれ帰国留学生ROTEXが全国どこへ

移動しても活躍できるようにと全国組織づくりをスタートさせ、早くも大阪世界大会に向けて動き出しました。当地区の参加者は開催地も青森と近いためROTEX2人を含む9人で、会議を通して得た貴重な知識と各地区間の連携を今後の青少年交換事業に生かしたいと思います。



山内哲郎委員(上磯RC)、ピチャイ・ラタクルRI会長、渡邊哲則委員(札幌手稲RC)、堺正英クラブカウンセラー(上磯RC)



馬場信吾委員(北広島RC)、清水慧子委員長(長沼RC)、ピチャイ・ラタクルRI会長、青森2830地区受入の交換学生(アメリカから)

第2回 ロータリー市民講座開催

職業奉仕委員会

委員長 富岡公治

次の通りの要領にて地区職業奉仕委員会主催の第2回ロータリー市民講座が開催されました。

記

- I. 日時 平成15年4月2日 午後1時30分から午後3時迄
- II. 場所 札幌市中央区民センター(札幌市中央区南2条西10丁目)
- III. 講師 税理士 金坂和正(札幌真駒内ロータリークラブ会員)
- IV. 演題 節税のポイントはどこ? 税について誤解があります!
- V. 講演の内容
 - 1 所得税
 - ・生計を一つにする親族に支払う対価についての誤解。その他の所得税の節税のポイント

- 2 法人税
 - ・交際費等についての誤解
- 3 相続(贈与)税
 - ・公正証書による遺言がベストか?
- 4 消費税
 - ・簡易課税と免税についての誤解
 - ・仕入れ税額控除の要件~所得税、法人税と大きな違い
- 5 平成15年相続法改正について
 - ・相続時精算課税制度
 - ・少額減価償却資産30万円未満へ
 - ・孫養子について
- 6 当日は約40名の市民が参加し、判りやすく税制度、税金についての講話をする金坂講師についての話を熱心に聴いておりました。

私達主催者側とすれば、中小企業者とかアパート経営者等の税金についての関心を持っている人達が多く参加すると考えていましたが、約60%以上の参加者は一般の主婦であり、講演終了後、第3回ロータリー市民講座は何時開催されるのかという問合せが多数寄せられ、ロータリアンの専門職種の市民講座が市民に期待されていると思われました。



IMを合同例会に変えてみました



12グループガバナー補佐

川田憲秀

長いロータリークラブの歴史の中で、常識になっていましたIMをやめて、代わりに合同例会を開催いたしました。5月12日・午後6時より、苫小牧市のグランドホテルニュー王子において開催いたしました。出席会員は122名で、小林ガバナーそして佐藤ガバナーエレクトの出席もいただきました。主管は白老クラブでお願いいたしました。点鐘・ロータリーソング・会長挨拶・幹事報告・ガバナー補佐による出席クラブの紹介・ゲスト・スピーチ小林ガバナーそして佐藤ガバナーエ

レクト……と続きました。例会を終了して、山本ガバナー補佐エレクトの乾杯で懇親会となり、最後は伊藤パーストガバナーの中締めで終了いたしました。「手牵手をつないで」を歌い実には和気藹々の例会でした。会費は、通常の例会費用のプラス3,000円となり一人5,000円となりました。IMと異なる点は、講演などのプログラムがありません。また、記念誌の作成・配布がありません。これらの、費用は100万から200万円の費用がかかります。講師は価格を抑えることで無名の方になります。有名な講師になると高額な講演料となり、記念誌も、多額のコストがかかりますが、ぱらぱらと読んでいただくと本棚に入るだけだと思います。その割には、編集に膨大な時間と多くの会員の方の手をおかけします。さて、合同例会ですが、小林ガバナーからは、「家庭奉仕について」あらゆる奉仕活動の原点は家庭奉仕であると思うと……ガバナーはこの1年間は毎日毎日・ロータリーの諸行事があり、奥様に皮肉を言われたとおっしゃっていました。しかし、この1年の間に奥様と沖縄旅行をされたとお聞きしています。癌の基礎研究に没頭され家庭を顧みることもなく、今やと反省されたかと〔失礼します〕……想像しております。実感のこもった説得力のあるお話でした。佐藤ガバナーエレクトは3年前に地区より国際ロータリーに寄付をした財団寄付のシェアーの中に、各クラブで奉仕活動を支援するシステムについての説明があり、次年度のクラブ役員を目と耳が研ぎ澄まされていました。懇親会は、グランドホテルニュー王子の栗田社長さん〔苦小牧クラブ会員〕のお気づかいにより、ディナーとなり1時間の予定時間では、ガバナー・ガバナーエレクトが各テーブルを廻って懇談をしていただく予定がふいになりました。少々反省をしております。経済環境が劣悪の中、政府が銀行に対して高いハードルを強要し、それに伴い大手の企業の数値目標が高く求められ、関連する中小企業に厳しい条件が突きつけられております。血も涙もない、環境で会員も会員事業所も苦しんでおります。競争原理の嵐が吹き荒れている中、ロータリーの友情がひと時の清涼剤となれば幸いと思った合同例会でした。

第3回 ワークショップの報告

家庭奉仕委員会

委員長 和田壬三

“日頃心がけている家庭奉仕”“心がけたい家庭奉仕”というテーマで、函館市内の函館国際ホテルに於いて、5月9日に開催されました。参加者は、小林ガバナー、松見補佐、遠藤補佐、鹿野次期補佐、を含め総勢で35名でした。

事前準備

事前に全参加者に対し、「ワークショップとは、予め、各人がテーマについて考えていることを発表しあい、それに対して、議論して更に各人の認識を深めることであること」、「今回のワークショップの目的は、家庭奉仕の大切さをロータリー自身に認識してもらうことであること」、会の進行方法として、最初に自己紹介と共に各人の日頃心がけている家庭奉仕、心がけたい家庭奉仕（家事、家族の共有体験、コミュニケーションなどなんでも良い）について1分以内で述べて頂きたいと文書でお願いしておきました。又札幌から、アドバイザーとして、土橋信男（札幌幌南RC）芳美ご夫妻、池上公介（札幌モーニングRC）松本純枝（深川RC）の各氏にご参加頂きました。

ワークショップ

最初に専門家である土橋芳美、同信男先生、池上公介先生にお話いただき、次いで参加者全員が、それぞれの家庭の状況や家庭奉仕の現状について語り合っていました。その中で最も話題が多かった、家族の共有体験とコミュニケーションの取り方に絞って議論を進め、土橋芳美先生が、コミュニケーションの方法について、改善すべき点について、個々の発言者に対し具体的に指摘頂き、質問に答える形で、池上公介、土橋信男先生が、指導するといったところで時間が来てしまい最後にガバナーから、誉めることの大切さ、そのためにはよく聞くこと、相手の人格を認めることが必要であると纏めて頂きました。参加者からの発言の要旨は以下の通りでした。

・家族で登山をしている。釣りをしている。毎週一回全部の子供の家族を集めて食事会をしている。毎日最後に帰る

家族に合わせて食事を取るように心がけている。子供が、野球をしたいといっているので家族全員で釣りが出来なくなるのではないかと心配している。

- ・子供とは、友達とし同様に付き合ってきた。
- ・第4、第5グループのIMのビデオを繰り返し5回夫婦で見た。ロータリーはこんな素晴らしいことをしているのかと妻も感心していた。（松見補佐がダビングして約3時間のビデオを各クラブに1本ずつ事前に回していただいていたようです。）
- ・亭主関白であるが、時々妻に感謝の言葉を掛けている。料理がおいしかったとか、助かるといった程度である。
- ・共に家業を営んでいるが、毎朝妻より早く起きてお茶を入れているが、第3者から妻がこのことを友達に話していることが伝わり、感謝していることが分かった。主人がお茶を何時も入れてくれることに感謝している。
- ・妻に給料をそっくり渡しているが、サラリーマンであるため、毎月同じ日に同じ金額であるためか、感謝の言葉がないのは寂しい。
- ・子供が独立して、夫婦だけとなり、会話もなくなったが、ダックスフンド2匹を買ったところこの犬を中心にして再び会話が始まった。



左端鹿野文男AGエレクト（函館亀田RC）

- ・茶髪の外見がそれらしい若者二人が、食堂で、カウンターに腰掛けて、隣の子に対し、タバコを吸っても良いか了解を得ている姿を見て、外見だけで判断をしてはいけないと反省した。
- ・我が子が中学で番長であったが、あるとき家族で外出し、道路を横断している時その子だけが遅れたので振り返ったところ、歩行困難な、よそのおばあちゃんの手を引いていた。この子は大丈夫と思いついておいたが、今では立派に後継者として手伝っている。

- ・家事はする時間がないのだが、ベッドメーカーだけは必ずしているのと家庭では努めて笑顔を決やさないようにしている。
- ・子供のアルバイトの件で、妻と祖母が対立したので、間をとって素直に自分の気持ちを伝えたところうまく解決した。
- ・子供に対して怒ることとしかることは違う。叱るようにしている。
- ・旅館業であるが、親と食事をしたことが一度もないし不満に思ったことも無く、家業を継いでいる。食事はコミュニケーションの手段であって、他で補われていれば一緒にしなくとも大丈夫。
- ・親と同居することは当たり前と違ってずっと同居している。

土橋芳美先生からのコメント

給料を全額渡していることに対して妻からの感謝の言葉が無いことに不満のことですが、私メッセージで素直に自分の気持ちを伝えることが大事。「貴方から感謝の言葉が聞けるとうれしいのだけれど」といった言葉を言ってみる。

池上先生からのコメント

両親が子供に関心を持って指導することが大切であるが、母親が、父親のことを尊敬していることを子供に伝えるだけでも子供は立派に育つのに今は、逆転している。

食事のことも大切であり、コンビニなどの食事に頼っている子供は、問題行動に走りやすい。

土橋信夫先生からのコメント

親は子供に対して友達のように振舞うことには問題がある。親は親として子供を育てる責任がある。その場合、父親と母親は、それぞれ父親、母親としての役割を果たすべきだと思う。その基本は、日本人、社会人としての躰である。

感想

総じてロータリアンは、家庭経営も上手になさり、問題がないとの印象を受けました。むしろロータリアンが、日頃接する地域、職場などにおいて、家庭奉仕の重要さ、大切さを語りかけ、子育てに、家族経営に生かすように働きかけるべきことを訴えるべきことが、当委員会にと

っては必要かなとの感想を持ちました。

反省点

当初から参加者が、多いので議論の時間がなくなるのではと懸念して、発言を1分に制限していましたが、参加者の自己紹介も後半になると寛いできたのか、それとも前の発言に対して刺激を受けた結果か、家族全員の紹介などから始まって、1人10分にも及ぶ方もいて結局議論する時間は正味30分程度しか取れませんでした。そのために、参加者同士が更に突っ込んだ議論をするところまでには至りませんでした。

3時間という時間も午後6時に開始した会議であれば、これ以上延ばすのは困難であり、議論が深まる前に終了せざるをえなかったことが残念でしたが、土橋芳美先生、土橋信男先生、池上公介先生のコメントで、各人の問題意識が、深まるのが出来れば幸いです。

今後は、人数を15人程度に絞るか、時間を増やす、或は、グループに分けて、別々に議論する必要があるのではないかと感想を持ちました。



右端和田壬三家庭奉仕委員長

ロシア部会に関する懇談会開かれる

友情交換委員会

委員長 金井重博

去る5月6日（火）午後6時から8時まで札幌グランドホテルで標記懇談会が開かれました。来賓として、在札幌ロシア総領事館からワシリー・サプリン総領事他2名が出席され、当地区からは小林ガバナー

との交流を目的に部会が
つくられるのは初めて。
今月末に部会としてロシア
語勉強会などを聞き、
正式に活動を始める。夏
にはサハリンへ視察旅行
なども予定している。



懇談会風景。

北海道新聞2003年5月7日朝刊

ーを始め25名が参加しました。

小林ガバナーのお話：地区内のロータリアンが色々な国の人々と仲良くしようという企画が米山地区幹事から出され、友情交換委員会の金井委員長を中心に検討していただいています。今回その第1号として、ロシアに関する集まりが開かれたことを大変嬉しく思います。この会が、他の国との交流会のモデルとなるよう期待しています。

サプリン在札幌ロシア総領事のお話：このような会合が開かれたことを喜んでます。最近のロシアは民主化が進み経済も安定し、諸外国と交流できる条件が整いつつあります。ウラル以西や中央ロシアとも交流してほしいです。大歓迎して協力させていただきます。

石垣バスターガバナーのお話：ロシアは訪れる度に良い方向に変わっており、サハリンは大変な日本語ブームです。交流の機が熟してきたこの時期に、永年の想いが叶ってこのような集まりができ、今日は嬉しい日です。近い国ですので一層の交流を望みます。

遠藤バスターガバナーのお話：会の発足に当たっては、会則・活動計画・収支予算が必要と思います。当地区では5年前から、ロシアから3カ月間2名の国際親善奨学生を受け入れています。まだ対等の交流ではありませんが、問題点を検討してゆきましょう。

金井の挨拶：本委員会は今年度新設されたばかりですが、地区からの示唆に基づき、国際版小さな親切運動を検討してきました。その第1歩である本日の会合では、ロシアとの交流の在り方について御懇談をお願い致します。今日のために準備をいただいた長谷川久夫さん（札幌セントラルRC）に感謝致します。

この後、長谷川氏が進行を担当して懇談しました。

ロシア部会設立
国際ロータリー
西北海道七十二のロ
ータークラブが加盟す
る国際ロータリー第2
10地区（事務局・札幌）
は組織内にロシア部会
を設けることになり、設
立へ向けた懇談会が六日
夜、札幌市の札幌グランド
ホテルで開かれた。
同組織内に特定の外国
懇談会には在札幌ロシア
総領事館のワシリー・
サプリン総領事、写真左
にも出席。「領事館とし
て大歓迎し、できるだけ
協力したい」とあいさつ
し、今後の交流に期待を
寄せた。

次期子ども奉仕委員会

次期委員長

米山道男

1. 小中学校での授業参観：5月15日（木）に北九条小に6名、16日（金）には白楊小に4名、北辰中に1名がお伺いして授業を見せていただき、校長先生を始め先生方ともお話しすることができました。澆刺とした子ども達に接し、参加者全員が若返りました。学校は、電話などで予約さえすれば、いつでも参観してよいそうです。皆さんに参観をお奨めします。必要なら当委員会に御相談下さい。今回の授業参観参加者（敬称略）は以下の通りです。岩崎輝明、植田英隆、高橋麗秋、中川喬雄、平野和典、三澤龍子、村山正、米山道男。



北九条小学校2年生の教室での授業参観風景

2. 学校・ロータリークラブ懇談会：5月16日（金）午後6時から8時まで北九条小の会議室をお借りして開催しました。北辰中・北九条小・幌北小・白楊小4校の校長先生2名、教頭先生4名を含む先生方9名とロータリアン9名が参加しました。先生方からは子ども達のことや授業を実施する際の諸注意を伺い、ロータリアンはそれぞれ、このプログラムに参加した動機、自分の職業、提案した授業の目的と概要を話しました。このプログラムに対する先生方とロータリアン双方の熱意と意欲に満ちた会合となりました。子どもが対象であるだけに、慎重の上にも慎重を期してプログラムを進めてゆきたいと考えます。ロータリー側の参加者（敬称略）は以下の通りです。植田英隆、大田すみ子、菅原耕治、高橋麗秋、千葉峻三、中川喬雄、中村真規、三澤龍子、米山道男。

3. 委員会開催予定：地区社会奉仕委員会・地区家庭奉仕委員会・地区世界社会奉仕委員会との合同委員会を6月14日（土）に開催します（前号に記しま

した「6月20日」を変更しました。委員予定者の初顔合わせです。



会議風景



手前から、植田氏、三澤氏、北辰中の（挨拶する）小西校長・渡辺教頭、北九条小の高橋校長・佐々木教頭



向かって左から、（発言する）大田氏、高橋氏

米山学友会・野外懇親会・盛大に開催

米山学友会

委員長 見延庄三郎

去る5月10日（土）午後12時半より、桜の美しい小樽市朝里川温泉郷の旅館「宏楽園」の大庭園（2万坪）で、米山学友会員とロータリアンによる家族ぐるみの大パーティーが開催された。当日は天候にも恵まれ米山学友会関係者29人、ロータリー関係者14人計43名の参加であった。斉田委員の開会宣言の後、見延米山学友委員長から経過報告、陳学友会々長、伊藤



（財）米山記念奨学会理事、ガバナー代理で米山地区幹事等各氏から御挨拶を頂いた。要約すると「米山奨学期間終了後も米山学友とロータリアンとの親密な親睦交流を深め、一層人間的社会的成長と共に国際間の平和と親善につなげていこう」との主旨の御挨拶であった。

次いで参加者全員による記念撮影の後、地元RCを代表して、小樽南RCの相馬会長から「慈愛に満ちた？」歓迎の挨拶と乾杯の音頭で宴会に入った。

当日のメニューは飲み放題食べ放題のジンギスカン料理であったが、小樽地ビールの特別提供もあり、しばしの間「お代りコール」の合唱が続き、会話にも大輪の花が咲いた。



やがて食欲も落ち着いたところで、クイズのお楽しみ番組と相成った。進行はその道の権威者？でもある高橋紀幸学友副委員長が発題者となり、文字や数字の組合せを中心とした、知性とユーモア溢れるとても楽しいクイズの連続であり、別のパーティーのお客さん迄手を挙げる位みんな大いに楽しみ又賞品に沸いた。

加えて岩内RCの野澤委員夫妻によるお笑いクイズが続き、珍味他野澤食品のお土産が惜し気もなく配られ、予定の2時間がアット云う間にたってしまった。

最後に戸井米山奨学委員長の音頭により、参加者一同の御多幸と米山学友会の益々の発展を祈念し閉会となった。閉会后宏楽園の米山社長の配慮により、露天風呂の入浴サービスもつき、多くの参加者が家族共々裸のつきあいを楽しんだ。

今回のパーティーは天候にも恵まれ、家族共々心から楽しんでもらえた素晴らしいものであった。こうしたことの積み重ねで更に参加者も増え、一層交流が深まり、米山奨学制度の究極の目的が達成されるものと期待される。

協力して下さった皆さん本当に有難うございました。 2003年5月

アンケート調査の結果と分析 (最終回)

クラブ奉仕委員会

2002年9月にクラブ奉仕委員会が地区内3,484名の全会員を対象に実施したアンケートの集計結果は『月信』2月号で、またその結果の分析は『月信』3月号・4月号・5月号で設問1から設問22までを報告済みですが、今月号は設問23「ロータリーの将来展望は？」から設問27・28・29の「自身の日頃の生き方について」までを、地区全体及びグループ別の集計結果の特徴等について、若干の分析を加えて掲載致しました。

調査の概要

- | | | | |
|--------------|----------------------|------------|---------------|
| 1. 調査時期 |2002年9月 | 5. 調査主体 |クラブ奉仕委員会 |
| 2. 調査対象者 |3,484名 | 6. 調査結果の集計 |ガバナー事務所 |
| 3. 調査方法 |悉皆調査・配票調査 | 7. 調査結果の分析 |クラブ奉仕委員会 |
| 4. 有効回収票・回収率 |1,758名 (50.46%) | | |

(回答率)

質問	回答項目	グループ												
		地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答率	会員数	3,484	189	266	384	466	466	360	209	183	281	247	246	187
	回答者数	1,758	113	133	218	200	209	168	130	98	127	111	139	112
	回答率	50	60	50	57	43	45	47	62	54	45	45	57	60

◎アンケート調査時点の地区会員数3,484名に対し、回収回答者は1,758名の50%の回答率であり、アンケートの目的について徹底されなかったのか、第2710地区の会員数(3,982名)回答者(2,882名)回答率(72.4%)に比べるとかなり低いと言わざるを得ない。

◎グループ別の回答率は第7(62%)第1・12グループ(60%)と上位で、逆に第4(43%)第5・9・10グループ(45%)と低く、札幌・函館地区の都市型クラブの回答率が低く、地方クラブの回答率が高いという結果となって現れている。

23.

(上段:人数、下段:%)

ロ タ リ ー に 対 し て 考 え る	23. ロータリーの将来展望は?	原点回帰すべしなお発展	797	33	68	101	90	92	79	63	44	55	50	71	51
			45	29	51	46	45	44	47	48	45	43	45	51	46
		このままでは衰退	865	64	57	101	103	108	83	62	38	66	58	65	60
			49	57	43	46	52	52	49	48	39	52	52	47	54

この項に対する回答は上記の如くほぼ拮抗している。グループ別に見ても際だった特徴は見られず、第1グループの、原点回帰29%、衰退57%が目を引きくらいである。そもそもこの設問には解答肢に問題があったと思われる。

原点回帰とは何を指すのかが明確でなかったからである。ロータリー結成に至るP.ハリスの思考を指すのか、又は1905. 2. 23日の初会合時の内容を指すのか、或いは、時代が少し降るが、ロータリーの奉仕の概念が明確化された1923年を指すのか? 更には、衰退とは単に会員数の減少を指すのか、会員の奉仕活動への参加意欲の多少を指すのか。これらの点がはっきりと示されていなかった為に二者択一の解答には抵抗があったと思料される。

24.

(上段:人数、下段:%)

ロ タ リ ー に 対 し て 考 え る	24. これからの会員増強について	常時新会員を補充すべき	1,412	75	105	184	161	163	136	111	77	106	86	110	98
			80	66	79	84	81	78	81	85	79	83	77	79	88
		現会員を維持すべき	262	23	20	26	25	41	24	19	15	17	16	24	12
			15	20	15	12	13	20	14	15	15	13	14	17	11

会員増強には異論も有るが、会員の大多数は、常時新しい会員を補充すべきであると考えている。

25.

(上段:人数、下段:%)

ロ タ リ ー に 対 し て 考 え る	25. 女性会員の入会について	前向きに考えるべき	1,410	91	114	181	156	157	135	117	87	111	85	100	76
			80	81	86	83	78	75	80	90	89	87	77	72	68
		望ましくない	246	5	13	30	31	45	29	11	4	11	21	37	9
			14	4	10	14	16	22	17	8	4	9	19	27	8

望ましくないと答えたのは、地区全体で14%であるが、第4・第5・第6・第10・第11グループが平均値を超している。そして第3グループが丁度平均値である。このことは、大規模クラブを有するグループに女性会員に対する拒否反応が多いと考えら

れる。

昔はロータリーへの魅力は有ったが今は薄れてきた、その理由の一つに、女性会員の入会をあげている会員がいる。一方女性会員を増やして欲しいとの要望もある。次年度RI会長は女性会員の増強を特に要請されているが、皆さんは如何に考えますか？

26.

(上段：人数、下段：%)

	地区	グループ												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
26. ロータリーは社会から認知されているか	十分認知されている	1,029	63	97	132	108	107	94	67	63	78	71	83	66
	認知されていない	59	56	73	61	54	51	56	52	64	61	64	60	59
		626	34	27	78	80	92	67	60	27	42	32	47	40
		36	30	20	36	40	44	40	46	28	33	29	34	36

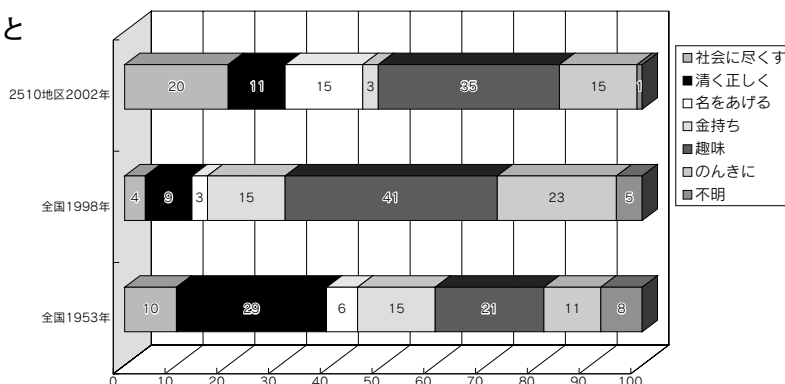
認知されているとの答えがやや優勢であるが、ロータリーは宣伝下手、PRが足りない、広報活動の強化が必要等の意見も散見される。

27.

(上段：人数、下段：%)

27	自分の生き方に一番近いのは？	2510地区2002年	グループ											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
自分の日頃の生き方について	社会のために全てを捧げる	358	18	31	44	46	45	28	21	20	19	32	25	29
		20	16	23	20	23	22	17	16	20	15	29	18	26
	どこまでも清く正しく生きる	186	15	16	35	16	15	22	11	9	17	7	13	10
		11	13	12	16	8	7	13	8	9	13	6	9	9
	真面目に努力して名をあげる	268	9	22	39	18	37	29	22	12	21	16	29	14
		15	8	17	18	9	18	17	17	12	17	14	21	13
一生懸命働いて金持ちになる	45	4	4	4	4	10	3	2	2	3	3	5	1	
	3	4	3	2	2	5	2	2	2	2	3	4	1	
自分の趣味にあった暮らし方をする	612	40	41	83	64	72	45	59	39	42	42	43	42	
	35	35	31	38	32	34	27	45	40	33	38	31	38	
くよくよせずのんきに暮らす	258	18	24	21	32	26	38	20	13	22	8	26	10	
	15	16	18	10	16	12	23	15	13	17	7	19	9	

ロータリアンの生き方と
全国民の生き方



28.

(上段：人数、下段：%)

28	自分の生き方に一番近いのは？	甲	グループ											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(甲) 面倒を見てあげることが多く、他人から頼られる	甲	480	19	29	58	61	65	51	35	18	41	33	38	32
		27	17	22	27	31	31	30	27	18	32	30	27	29
	やや甲	744	45	55	103	92	102	73	61	39	19	49	58	48
		42	40	41	47	46	49	43	47	40	15	44	42	43
(乙) リーダーになって苦労するより、気楽に従う	やや乙	330	25	32	35	27	25	34	23	27	26	21	30	25
		19	22	24	16	14	12	20	18	28	20	19	22	22
	乙	68	4	9	9	7	5	5	8	2	8	2	6	3
		4	4	7	4	4	2	3	6	2	6	2	4	3

29.

(上段：人数、下段：%)

29	自分の生き方に一番近いのは？	甲	グループ											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(甲) 古いものはできるだけ残そうとする方	甲	315	21	28	34	33	36	37	17	21	28	22	26	12
		18	19	21	16	17	17	22	13	21	22	20	19	11
	やや甲	554	31	40	69	63	67	55	42	30	41	37	44	35
		32	27	30	32	32	32	33	32	31	32	33	32	31
(乙) 新しいものをとり入れて改革していく方	やや乙	615	34	45	74	71	75	50	54	37	42	38	51	44
		35	30	34	34	36	36	30	42	38	33	34	37	39
	乙	181	6	14	26	28	21	21	16	4	12	10	13	10
		10	5	11	12	14	10	13	12	4	9	9	9	9

この27さらに28・29については、今回の質問事項の中でも様々な批判が寄せられた。中には“大変くだらない質問である”との厳しいご意見もあったが、ごもっともである。一見ロータリーには関係の無い質問であり、且一般的質問としても、その設問・選択肢に納得できないものがあつたからであろう。ただこれらの設問・特に27問は、日本国民の平均的生き方がどう変化したか、そしてロータリアンのそれとに差異があるのか？ を探る為の質問であつた、と申し上げれば、設問の意図そして回答肢少なさもご理解頂けるのではなからうかと考えている。

さて、生き方であるが、下表の如く1953年と1998年の調査ではかなりの変化がみられる。特に顕著なのは、1953年に比べて「社会に尽くす」「清く正しく生きる」が減少し、「趣味にあつた暮らし方をする」「のんきに暮らす」が増加したことである。一方、当地区の会員は、「趣味にあつた暮らし方をする」のが35%と一番多いが、「社会に尽くす」ことを生き甲斐としている会員が次ぎに多く、しかもそれは、1998年の全国平均はもとより、1953年のそれをもはるかに凌駕している。2710地区の調査でもほぼ同様な結果を得られたことを考えると、この点にロータリアンの特質が表されているといえるのではないであろうか。

(上段：人数、下段：%)

30.

	地区	グループ												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
30. 今後のアンケートの実施について	定期的の実施するのが望ましい	1,209	74	94	154	124	143	122	83	67	80	77	104	87
		69	65	71	71	62	68	73	64	68	63	69	75	78
	余り必要なし	380	16	26	40	59	44	37	42	25	21	26	26	18
		22	14	20	18	30	21	22	32	26	17	23	19	16

第4回 ワークショップの報告

ワークショップ

『明日のエネルギー問題を考える』を開催して 井上 勝一 (札幌北RC)



新しいロータリーの可能性を模索して、一般市民との連携を強めるためのワークショップを計画し、北海道新聞社の後援を得て開催した。意気込みと期待は強く、当初、参加者100名、懇親会参加者30名を予定したが、実際には、ロータリアン19名、一般市民17名の参加に過ぎなかった。会場(北大)や開催日時に対する考慮の不足を、計画実行者として猛省している。発表は、「都市化と健康」井上勝一(札幌北RC)、「開発と破壊のはざまから」橋本信夫(札幌西RC)、「石油業界からみたエネルギー問

題」川田憲秀(白老RC)、「新しいエネルギーとその使い方」村山 正(札幌RC)のいずれも白熱を帯び、特に村山氏の発表は、会場とのやり取りがいつ終わるかと思ひ届かぬほどであった。内容については、帰り際「これ一回で終わるのは勿体ないですね」と言った一般市民の言葉にすべてが表わされている。いずれにせよ、曠野に一步は踏み出された。この不断の繰返しにより、踏み固められ、一条の確固とした道筋への発展を祈ってやまない。

第5回 ワークショップのご案内

テーマ：「大人は子ども達のために何ができるか」

いつの時代でも、子どもは自分探しの途上にあつて悩んでいます。そしてその悩みを様々な形で発信しています。大人は子どもの心に真剣に耳を傾ける必要があります。そして、伸び伸びとした雰囲気の中で自分探しができるよう手助けをしたいと思ひます。

大人は子ども達のために、どのような考え方をもち、どのようなことをしたらよいのでしょうか。このことを皆で考えてみるために、このワークショップを企画しました。多くの参加者による熱心な話し合いを期待します。

記

- 日時：2003年6月21日(土) 14:00~17:00(引続き、19:00まで懇親会)
- 会場：ホテル万世閣(〒049-5721 虻田町字洞爺湖温泉町21、電話：0142-73-3500、FAX：0142-75-2271)
- プログラム：
 - ・話題提供
 - (1)「子どもは大人に何を望むか」 虻田町の小中学生
 - (2)「家庭で何ができるか」 地区家庭奉仕委員会委員長 和田王三
 - (3)「学校で何ができるか」 虻田町の教育関係者
 - (4)「地域で何ができるか」 洞爺湖RC会員など地域住民
 - ・小中学生からの質問時間
 - ・参加者全員による話し合い
- 会費：ワークショップは無料。懇親会は6,000円(宿泊の場合は6,000円追加)。当日お支払い下さい。
- 申込方法：①氏名、②所属クラブ、③連絡先、④ワークショップ参加の有無、⑤懇親会参加の有無、⑥宿泊の有無、を記して、2003年6月2日(月)までにガバナー事務所にFAXで。(FAX：011-222-1526)
- 主催：洞爺湖RC・地区幹事会
- 問合せ先：ガバナー事務所(011-219-2510)、前谷休市(洞爺湖RC、0142-76-3056)、米山道男(地区幹事、090-7058-5520)

新旧ガバナー補佐引継ぎ会議 及びガバナー補佐座談会のご案内

ガバナー 小林 博
ガバナー・エレクト 佐藤秀雄
現・次期地区幹事一同

今年度の各ロータリー活動はどうであったかを検証する時間も近づいてまいりました。この評価は、5年、10年、20年先に下されるものとは思いますが、皆様方と一生懸命努力したことだけは間違いないと存じます。その成果もすべて皆様方のお陰と心から深謝申し上げます。1年間を振り返り「新旧ガバナー補佐引継ぎ会議」を下記の要領にて開催しては如何かと存じ、佐藤秀雄ガバナー・エレクトご了解のもと計画致しました。是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

当日は、12時30分よりガバナー補佐座談会を企画し、その要旨をガバナー『月信』第13号に掲載することも考えております。

なお、出欠のご返事は**5月30日までにガバナー事務所**へお送り下さいますようお願い申し上げます。 敬具

記

1. 日時 2003年6月15(日)

- 12時30分～14時30分 ※12時00分より会食
「02-03年度ガバナー補佐座談会」
- 15時00分～17時00分
「新旧ガバナー補佐引継ぎ会議」
- 17時00分～18時30分
「懇親会」

2. 場所 札幌アспенホテル

札幌市北区北8条西4丁目 Tel.011-700-2111

新旧地区委員会委員長 引継ぎ会議のご案内

ガバナー 小林 博
ガバナー・エレクト 佐藤秀雄

今年度の各ロータリー活動はどうであったかを検証する時間も近づいてまいりました。この評価は、5年、10年、20年先に下されるものとは思いますが、皆様方と一生懸命努力したことだけは間違いないと存じます。その成果もすべて皆様方のお陰と心から深謝申し上げます。

さて、**次年度に委員長が交替する委員会を対象に**「新旧地区委員会委員長引継ぎ会議」を下記のとおり開催致したくご案内申し上げます。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご臨席下さいますようお願い申し上げます。

なお、出欠につきましては、**5月30日までにガバナー事務所**へご返信下さいませ。 敬具

記

1. 日時 2003年6月15(日)

13時00分～14時30分
17時00分～18時30分「懇親会」

2. 場所 札幌アспенホテル

札幌市北区北8条西4丁目 Tel.011-700-2111

ダヤシリさん歓迎会のご案内

ご存知のとおり、国際ロータリー第2510地区ではこの2、3年、地区内の中古ベッドなど医療資材をスリランカへ多量にお送りして参りました。地区内ロータリアンのご協力に厚く御礼申し上げます。

先方の受入れ責任者はダヤシリ・ワルナクラスーリヤさん(コロンボRC)で、この方のお力添えがあったればこそ、円滑な作業が出来たと考えております。

つきましては、ダヤシリさんが近く来札されます。次の要領にて歓迎会、並びに感謝状の贈呈を致したく存じますので、ご出席をいただければ光栄に存じます。なお、ダヤシリさんは日本人と変わらぬ流暢な日本語を話されます。ご夫人(日本人)も同伴されるかもしれません(未定)。皆さまのご出席をお願い申し上げます。

記

日時●6月5日(木) 午後6時00分

場所●札幌ガーデンパレス(中央区北1西6 Tel.011-261-5311)

会費●3,000円(予定)



お菓子をプロデュースするナシオ

<http://www.nasio.co.jp/>

あなたとともに



夢を育てるナシオ

最新の情報と独自のシステムをフルに活用し、お客様のビジョンをカタチにしていきます。

ナシオはメーカー・小売・消費者を結ぶUseful企業です。

NASIO
株式会社 ナシオ

関西支店

平成15年5月1日開設

本社/札幌市西区八軒9条西10丁目 ☎(011)642-5155 道内支店(札幌・旭川・北見・函館・苫小牧・釧路) / 関東本部 / 東北支店 / 関西支店

第12回●GSE派遣メンバー決定

派遣地区 3830地区（フィリピン、メトロマニラ地区）
派遣日程 2004年2月18日から3月24日（35日間）



チームリーダー

氏名●戸部謙一 年齢●64歳
所属ロータリークラブ●札幌西RC
勤務先●日本食品製造合資会社社長 フィリピン国名誉領事



メンバー氏名●小嶋裕美
性別●女
年齢●36歳
専攻及び職業●看護師

北海道大学医療短期大学を卒業。札幌社会保険総合病院に勤務。大学を卒業後、子供の頃を過ごした九州に戻り、3年間を大学病院で看護師として勤務。その後自由な北海道の環境と大学時代の友人が多い北海道に戻る。現在は札幌社会保険総合病院に勤務、ナースステーション科長を務めている。8歳になる娘と子犬のキャバリア犬と暮らしている。モットーはいつも生き生き、キラキラしていること。さまざまな新しいことに挑戦することに興味がある。この度のフィリピンでの研究グループは色々な新しいことに挑戦する機会が多いと考え、楽しみにしている。



メンバー氏名●紺野拓美
性別●女
年齢●27歳
専攻及び職業●美容師

札幌平岡高等学校卒業後、北海道芸術デザイン専門学校、北海道ヘアスタイリスト専門学校において美容師としての技術を学ぶ。現在美容室桜井に勤務、副主任を務めている。趣味は油絵、コンピュータグラフィック、日本舞踊など。美容室桜井では毎年留学生を対象にした奉仕活動をしているため、外国の若い人と接する機会が多い。仕事の中では特にネイル・アートを得意としている。この度はフィリピンでの美容界の現状を学んでけると同時に、出来れば現地の美容室で日本の美容技術を実際に示す機会があることを期待している。



メンバー氏名●佐久間慎二
性別●男
年齢●29歳
専攻及び職業●北海道新聞社勤務

北海道学園大学では英米文化論を学ぶ。北海道新聞社人事部に勤務。学生時代から生命倫理学に興味があり「日本におけるホスピスの可能性」を卒論のテーマにした。趣味は将棋とギターを弾くこと。幼少の頃からスポーツ少年で、野球とスピードスケートに熱中していた。しかし、15歳の時に大病と闘い、病を克服したが足が少し不自由になった。しかし命の淵から生き残ったからには、少しでも周囲の人たちの役に立たなければならないと考えている。今回のGSEでは新聞記事を教育の現場で利用するNIE (Newspaper In Education) のフィリピンでの可能性を調査すると共に一緒に行くメンバーとの友情を深めながら、フィリピンの人々との文化交流を活発にしたいと考えている。



メンバー氏名●福地信昭
性別●男
年齢●30歳
専攻及び職業●臨床検査技師

北海道大学医療短期大学を卒業後、日本赤十字血液センターに勤務。献血を受けた血液を血液製剤として製品化した上、輸血を必要とする患者に届けるという仕事をしている。趣味はスポーツで、夏は水泳、冬はスキーを楽しむ。一昨年タイから研修生が血液センターに派遣されてきた。その研修生の担当になったため語学の壁がある中でコミュニケーションをとる苦労をした。その経験から学んだことはコミュニケーションとは互いに理解しようという努力することと感じた。GSEメンバーに選ばれてフィリピンに出かけるこの機会に語学力と海外に対する認識を深める機会にしたい。

ロータリーの専門用語がわからない!

ロータリアンだけに通じて一般の人にはわからない用語がある。いくつか挙げよう。私たちが何気なく使っている「点鐘」は辞書にも載っていない。村山正第4グループガバナー補佐の話によると、点鐘は本来海軍用語とのこと。「章典」という言葉も辞書には載っていない、とは亀井敏清地区情報委員長のお話である。「テーブルスピーチ（卓話）」も、英語の辞書にも日本語の辞書にも載っていない。いずれもロータリー独特の言葉のようである。以上のようなことが他にも幾つかあるのではないかと。ロータリーが一般社会に気軽に受け入れられるためにも、一般の人にわかりにくい異質感のある言葉はできるだけ避けた方が良くない。

り・ん・ご・の・ひ・と・り・ご・と

とうとう戦争が始まり「戦争はんだ〜い」と叫んでも馬の耳に念仏なのか、聞く耳持たぬのか単にブッシュは戦争が好きなのか?…と、考えるだけで何もしない自分が情けない今日この頃。そんな時にふと見つけたガンジーの墓碑に刻まれた文字。

『七つの社会的罪』 Seven Social Sins

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 理念なき政治 | Politics without Principles |
| 2. 労働なき富 | Wealth without Work |
| 3. 良心なき快楽 | Pleasure without Conscience |
| 4. 人格なき学識 | Knowledge without Character |
| 5. 道徳なき商業 | Commerce without Morality |
| 6. 人間性なき科学 | Science without Humanity |
| 7. 献身なき信仰 | Worship without Sacrifice |

マハトマ・ガンジーのこの魂の箴言は、人類への普遍的な問いかけである

クラブ活動 紹介

第一回パソコン教室開催

久住八郎（栗山RC）

4月22日の統一地方選挙の告示日に、メンバーの中から3名の会員が立候補予定で多数の欠席者がでると予想されましたので、移動例会としてパソコンの勉強へと変更しました。本年度のペッツ（会長エレクト研修セミナー）へ参加させていただきました際に、IC委員会山田信夫委員長より、これからは「インターネットが必要な時代になってきました。これを利用することにより、経費も節約できます」などと色々の利点を聞きましたが、いざ実行となると難しく、クラブIC委員会の今井敏明会員と協議して、まず会員の方にこの便利さを知ってもらうために、栗山ロータリーでパソコン教室をやってみようということになりました。4月22日の例会を移動例会に変更、今井敏明会員の会社の2階にあるパソコン教室へ。12時30分開催予定のところ、多くの会員がはやめに来て食事をすませ、早くもパソコンにチャレンジ、インターネットでロータリーの源流を画面に呼び出すと色々の情報が出てきます。例えば2月25日、小林ガバナーの2度目の栗山への公式訪問の様子が記載されていました。ガバナー月信を画面上に写し出して、私がいるなどと歓声を上げていました。今井会員が栗山町のインターネットを出しやすくしておいたので、栗山町の地図や天気予報も見ることができ、町の最新情報を知ることができました。年輩者がパソコンをやることはたいへんだと思いますが、時代の流れのなかで必要になってきている事を理解していただき、次年度はIC委員会に力を入れると聞いております

ので栗山RCは一步踏み出し、次年度もパソコン勉強会を開いてほしいと願っています。



長万部、森、七飯RC合同で 春の交通安全キャンペーン

柴田晴史（七飯RC）

5月12日（月）午後1時30分～2時30分の1時間で、それぞれの場所で3クラブ同時に行った。



クラブの年度始めに、社会奉仕で何かできないか、又、1クラブでするよりも、合同ですればアピール度も増すのではないかと。3クラブは国道5号線に沿って町があり、これを利用すればキャンペーンが出来ると3クラブで打合せ、いろいろな案がでた。スタンプラリーキャンペーン等、だが交通となると警察の交通係、また、それぞれの町の交通安全協会の協力を得なければなりません。

また、各クラブの希望の月日、時間にも制約されます。そんな中で一斉に行われる春の交通安全中にする事になり、その中で何をしたらいいのか、打合せの結果、ポケットティッシュに交通安全標語、シートベルトは命を守

ると3クラブ名をプリントした物をティッシュにはさみ込み、このはさみ込み作業は例会時に出席会員で200個を準備、ガムと缶コーヒー各100個を揃えて行った。



豊平川河川敷でゴミ収集作業

近藤和雄（札幌南RC）

札幌南RC環境保全委員会（委員長坪池栄一）による、清潔で住み良い街にするための環境美化推進運動の一環として、豊平川河川敷に捨てられた空き缶・ゴミの収集を会員35名の参加により実施しました。



しゃくなげ公園入口の 石庭を整備

社会奉仕委員会（えりもRC）

当クラブでは、このほど、町内新浜地区にある「しゃくなげ公園」入り口の石庭の補修整備を行った。



石庭は1983年に、クラブが造成し、町に寄贈したもので、以来毎年春に会員が、冬の間の強風などで壊れたり、ゆがんだりした柵の補修や草刈りなどをして整備している。

参加した会員は、スコップやカケヤ、鎌などを手に、竹で柵の増強をしたり、草刈りや地ならし等、約2時間をかけて整備。入園者もきれいになった石庭の前でしばし足を止めて眺めていた。



壊れた柵を補修
えりも
ロータリー
【えりも】えりもロータリークラブ（荒木善広会長、二十七人のほかに、町内新築のしきくなど、公園入り口の石庭整備を行った。）

石庭はおよそ二十年前同クラブが寄贈した。以来毎年春、メンバーが塀などの補修に柵を出すメンバー

整備を続けている。参加者は草刈りのほかに、冬の間の強風などで壊れた柵を補修した。

メンバーの一人は「こ

岩見沢ロータリー旗争奪第12回 中学校選抜野球 岩見沢大会

荒木敏博（岩見沢RC）

毎年5月の連休に行われる岩見沢ロータリー旗争奪中学校野球大会も12回目を迎え、参加校も市内・近郊合わせて昨年より4校増えて16チームが参加し、晴天の中、5月3～4日の2日間熱戦が繰り広げられました。

開会式に引き続き行われた始球式では、ピッチャーに渡辺市長、キャッチャーは小林会長、バッターには倉増エレクトという顔ぶれで真剣勝負が行われ会場にどよめきをもたらしました。

スポーツは勝敗もさることながら結果だけではなく、チームワーク、行動力、友愛などを培うことが大切であり、本大会はスポーツを通じて青少年のたくましく、健全な成長を願うと共に既に全国レベルにある地域野球の更なる発展と充実を目指し行くものである事を再認識した2日間でした。



春のゴミ掃除クリーン作戦

社会奉仕委員会（えりもRC）

当クラブ主催の春のゴミ掃除クリーン作戦がこのほど、本町市街地を中心に行われ、大勢の町民が参加して街の美化に努めた。

午前7時、えりも小学校校門前に会員をはじめ、女子バレーボール少年団、婦人ボランティアグループ、さらに特別養護老人施設「やまと苑」や日高信用金庫えりも支店などが、職場ぐるみで参加、過去最高の120人が参加した。



参加者は、ゴミ袋を手に国道と町道に分かれ、約1時間にわたって路上に捨てられた空き缶やタバコの吸い殻などを丁寧に拾い、2トントラック一台分のゴミを集めた。

担当の委員は、毎年春と秋のクリー

ン作戦により、町民の意識も高揚、また、ごみの分別収集などの影響で、ごみを出さない習慣が定着し、年々効果が上がってきている」と語っていた。

町民120人参加

えりもでクリーン作戦

ロータリークラブ（荒木善広会長、27人のほかに、町内新築のしきくなど、公園入り口の石庭整備を行った。）

この日は、えりも小学校校門前に参加した町民120人が、ゴミを拾ってトラックに積み込んだ。

えりも小学校校門前に参加した町民120人が、ゴミを拾ってトラックに積み込んだ。

えりも小学校校門前に参加した町民120人が、ゴミを拾ってトラックに積み込んだ。

えりも小学校校門前に参加した町民120人が、ゴミを拾ってトラックに積み込んだ。

全国RC野球大会に参加して

橋本新治（岩見沢RC）

平成15年5月24日～6月29日にわたって甲子園で開催される第21回全国RC野球大会に我チームは第2510地区代表として登録、選手・応援団総勢25名をもって参加してまいりました。



23日には、大会第1日目6試合の12チームが一同に会してノホテル甲子園において親睦をかねての前夜祭は盛大に挙行され、我チームの面々は楽しい酒に酔い、明日の勝利を確信しつつ盃を酌み交わしておりました。

24日大会初日の第1試合、全国RC野球大会コミッショナー瀬川正義様の始球式の後、我チームは大阪箕面RCと対戦、ファインプレー(?)・エラーをつみかさねつつ善戦・健闘いたしましたが、力およばず2-0で惜敗(?)し、晴天の甲子園球場を後にしました。

初戦突破は残念ながらありませんでしたが、ケガ人を出すこともなく参加25名が楽しく、にぎやかにRC野球大会を楽しんできた事をここに報告します。

ロータリー財団への寄付状況一覧（全国地区別）

国際ロータリー第2510地区 ガバナー 小林 博/ロータリー財団委員会 委員長 森本正夫/財団増進委員会 委員長 若狭吉範

ロータリー財団への寄付状況については、『月信』5月号でクラブ別自主申告額と実績額を3月31日現在で掲載しお知らせ致しました。地区全体の自主申告額は284,650ドルで、3月31日現在の実績額は180,824ドルで達成率は64%でした。

4月30日現在は下表のとおりポリオプラスを除く実績額は189,446ドルで、達成率67%と目標達成には厳しい状況です。本年度も残すところ1か月となり、今一度財団並びにポリオプラスへのご理解とご協力をお願い致します。

2003年4月30日現在（単位：ドル）

地区	基準会員数	地区目標額	1人当り寄付実績額	年次寄付	ポリオ・プラス	使途指定寄付	恒久基金寄付	合計
2500	2,960	220,000	103.33	81,879.75	205,968.95	0.00	18,000.00	305,848.70
2510	3,490	250,000	59.66	183,946.01	18,761.30	0.00	5,500.00	208,207.31
2520	1,567	150,000	54.49	71,245.79	12,140.89	0.00	2,000.00	85,386.68
2530	2,756	290,000	75.32	136,777.26	65,391.70	0.00	5,400.00	207,568.96
2540	1,446	163,700	55.56	28,134.75	51,202.90	0.00	1,000.00	80,337.65
2550	2,259	305,500	118.83	191,308.41	57,085.24	0.00	20,050.00	268,443.65
2560	2,332	255,000	81.76	178,076.72	567.42	5,010.00	7,000.00	190,654.14
2570	2,335	250,000	112.62	96,440.16	111,976.17	0.00	54,556.63	262,972.96
2580	3,930	300,000	95.77	210,655.68	106,305.59	0.00	59,400.00	376,361.27
2590	2,875	295,000	174.79	321,922.82	109,563.34	-3,555.46	74,600.00	502,530.70
2600	2,698	26,000	86.21	122,339.85	94,189.15	5,067.00	11,000.00	232,596.00
2610	3,150	100,000	84.08	170,588.57	88,265.21	0.00	6,000.00	264,853.78
2620	3,957	425,900	89.44	311,855.29	1,957.40	7,600.00	32,500.00	353,912.69
2630	4,330	600,000	146.49	338,551.79	250,757.83	0.00	45,000.00	634,309.62
2640	3,119	500,000	206.47	163,920.43	433,477.47	20,585.00	26,000.00	643,982.90
2650	5,656	800,000	145.90	536,607.51	170,328.74	4,917.00	113,353.62	825,206.87
2660	4,646	680,000	164.39	465,060.36	244,972.10	22,847.00	30,873.75	763,753.21
2670	3,490	287,000	110.94	183,005.21	201,669.66	0.00	2,500.00	387,174.87
2680	3,649	400,000	124.67	252,257.16	186,049.01	9,600.00	7,000.00	454,906.17
2690	3,706	540,000	150.45	296,771.62	229,728.52	7,921.00	23,163.33	557,584.47
2700	3,514	230,000	62.79	175,672.04	29,474.51	12,000.00	3,500.00	220,646.55
2710	3,942	410,000	144.47	247,959.46	217,140.58	2,000.00	102,412.48	569,512.52
2720	2,910	270,000	64.90	97,332.79	84,438.61	0.00	7,083.33	188,854.73
2730	2,823	110,000	51.27	123,224.89	6,774.98	2,000.00	12,740.00	144,739.87
2740	2,853	280,000	89.15	186,907.23	46,933.81	-2,500.00	23,000.00	254,341.04
2750	5,434	400,000	107.37	378,504.14	38,650.70	7,750.00	158,525.00	583,429.84
2760	5,736	570,000	112.06	322,672.16	286,228.88	1,783.00	32,083.33	642,767.37
2770	3,223	520,000	153.72	347,442.45	70,531.67	1,000.00	76,450.00	495,424.12
2780	2,838	300,000	129.55	248,519.10	80,899.85	0.00	38,249.99	367,668.94
2790	3,508	355,000	87.57	218,912.34	33,200.36	2,500.00	52,566.99	307,179.69
2800	2,298	270,000	96.03	166,891.57	46,796.41	6,000.00	1,000.00	220,687.98
2810	1,556	155,000	53.98	57,703.81	23,296.09	1,000.00	2,000.00	83,999.90
2820	2,473	280,000	182.40	164,898.07	265,116.13	6,049.17	15,000.00	451,063.37
2830	1,392	100,000	42.45	54,447.57	1,140.00	0.00	3,500.00	59,087.57
2840	2,343	230,000	82.57	141,530.23	44,942.34	5,000.00	2,000.00	193,472.57
日本の合計	111,194	11,318,100	111.42	7,273,962.99	3,915,923.51	124,573.71	1,075,008.45	12,389,468.66
世界の合計				37,464,535.64	44,931,981.83	8,171,476.83	4,432,273.91	95,000,268.21

会員の声

神様の目線が求められるロータリー

川田憲秀
(白老RC)

デフレスパイラルの日本経済は、行き先がまったく予測できません。ハーバード大学で学んだ大臣の研究を、この日本で実験してほしくない……と悲鳴が聞こえてきます。

そんな中で、私たち日本のロータリークラブが21世紀を迎えました。1年間のガバナー補佐の経験は、いろいろなものを幅広く学習させていただき、貴重な期間となりました。異常とも言われる高齢化社会の中で、ロータリークラブは40代から80代の会員で構成されております。ほとんど、3世代の年齢の差となっております。親・子・孫ほどの年齢差の会員の意識、価値観を共有することは不可能なことと思います。しかし、どこか大切な一点を共有しなければ、この素晴らしいロータリー

を未来あるものとして続けて行くことは出来ません。

小林ガバナーの一年間も、この挑戦と改革の連続であったと思います。私のクラブにおいても、何度か問いかけてみましたが、ほとんど反応がありませんでした。「昔からやっているようにやればいい……」「面倒なことをするのであれば、俺はやめる……」などなどです。変革していかなければ、若い会員が入会して来ませんし、入会しても失望して退会していきます。実感する経済社会は、厳しさを越えて悲惨な状況です。過当な競争の中でリストラをしなければ、倒れることが避けられません。

クリスチャンの方々は、日曜日に教会に行きすべてを包み込む慈愛に満ちた神様の目線を意識するようです。週に一度の例会に出席し、ほんのひとときだけでも神様や仏様の目線で、地球のこと・地球に住む人々について考えるのがロータリーなのではないかと思っております。住む家もなく、泥水をすくって飲んでい

る子供たちがいる……ポリオに泣いている子供たちがいる……。私たちの大変さとは比較にならない恵まれない人々がいることを忘れてはいないだろうか？

私たちのロータリーは、人間の目を少しでも神様の目線から見ることを教えているのではないのでしょうか……。

会員の減少により、クラブの財政も地区財政も一段と厳しさを増しているようです。小林年度ではガバナー事務所費や、パストガバナー会等に関わる費用を大幅に減額し収入減に対応したようですが、次年度以降もこの厳しさは変わることは無く、抜本的対策が求められることと思います。従来の慣習を改革し新しい試みに対して反発や批判するだけでは、ロータリーの未来を明るくすることはできません。改めて「四つのテスト」を基準に考え、「神様の目線で見る」ことがロータリーに求められていると思います。手ごたえのある一年間でした。小林博ガバナーありがとうございました。

家庭奉仕のビデオ

「慈愛の種は家庭から」と題したIM（第4・第5グループ）が開催され、その模様をコンパクト（26分）にまとめたビデオテープが出来上がりました。

例会時にあるいは、ご家庭で是非一度ご覧下さり、奉仕の原点をさぐってみるのも大切と思われます。

ビデオテープはガバナー事務所ならびに地区文献資料室にありますので、貸出しを希望される方はご一報下さい。

ガバナー事務所 TEL 011-219-2510
FAX 011-222-1526
文献資料室 TEL 011-231-1297
FAX 011-222-2744

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます。

(2003年4月末現在)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	ポール・ハリス・フェロー
小笠原孝会員 (函館北RC) (7) 4月11日	樋口正明会員 (札幌北RC) 4月3日
山田邦昭会員 (恵庭RC) (2) 4月18日	片岡是充会員 (札幌北RC) 4月3日
大川健一会員 (恵庭RC) (1) 4月18日	飯淵義久会員 (室蘭東RC) 4月11日
古川大之会員 (長沼RC) (1) 4月25日	若松竹治会員 (室蘭東RC) 4月28日
荒岡幹史郎会員 (札幌東RC) (3) 4月25日	杉下清次会員 (札幌北RC) 4月28日
竹原 巖会員 (札幌北RC) (1) 4月28日	
長太義雄会員 (札幌北RC) (1) 4月28日	

掲示板

例会変更

- 美唄RC 6月12日(木)「家族同伴夜間例会」18:30~
6月26日(木)「さよなら夜間例会」
小樽南RC 6月 6日(金)「酒田RCとの合同例会」18:00~
場所:ニュー三幸(稲穂1-3-6 Tel.0134-33-3500)
6月13日(金)→6月14日(土)「野外例会」に変更 12:00点鐘
場所:マリンウェーブ小樽(築港5-7 Tel.0134-22-1311)
当別RC 6月24日(火) 夜間例会「さよなら例会」18:00~
苫小牧RC 6月27日(金) 夜間例会に変更 18:00~

次年度例会日の変更(7/1より)

- 白老RC 毎週水曜日12:30~⇒毎週火曜日12:30~に変更

次年度クラブ事務局の変更(7/1より)

- 洞爺湖RC 〒049-5605 虻田郡虻田町字高砂町159番地2 株式会社エムズ内
TEL (0142)74-3333 FAX (0142)74-3334

お詫び・訂正

- 5月号の中で誤りがありましたので、お詫びして訂正致します
p23「3月会員増減数・出席率報告」出席率の訂正
恵庭RC 誤) 25.49% → 正) 85.49%
第7グループ 誤) 75.98% → 正) 85.98%
地区全体 誤) 82.95% → 正) 83.78%
p5左 8行目 第4グループの村上正→正) 村山正
p7左 下から7行目 伊藤義郎元R1理事(札幌RI) →正) (札幌RC)
p7左 下から6行目 竹山涼一元R1理事(札幌南RI) →正) (札幌南RC)
p7右 上から7行目 Sow the seeds of live→正) love

小林ガバナー 国際大会のパネリスト を務める

2003年6月1日~3日までオーストラリアのブリスベンで開催の国際ロータリー第94回世界大会で、Back to Basics「原点に戻ろう」がテーマのパネルディスカッションに3人のパネリスト(イギリス・アメリカ・日本)の1人として参画することになりました。

計 報

山口 進 会員

(札幌東RC)

平成15年3月27日

ご逝去(享年69歳)



《ロータリー歴》

1971年8月23日 入会

1977~78年 職業分類委員長

1982~83年 国際奉仕委員長

1989~90年 出席委員長

1997~98年 副SAA

2001~02年 ロータリー財団副委員長

2002~03年 出席副委員長

事務所だより

- 毎月の会員数および出席率の報告は、最終例会終了後15日以内です。期日の厳守をお願い致します。
- 月信への原稿をお寄せ下さい。特にクラブ活動、会員の声へのご投稿をお待ち致します。投稿の際には、スナップ写真も添えてください。
- 6月1日からロータリーレートが116円に変更されます。年度末につき送金の混雑が予想されますので、お振込みは6月20日までにお願い致します。

国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度 ガバナー月信

発行人 2002-2003年度ガバナー 小林 博

発行元 国際ロータリー第2510地区
2002-2003年度ガバナー事務所

発行日 毎月1日発行 年12回

編集委員 ◎竹原 巖(地区幹事) 大田すみ子(地区幹事)

熊谷 満(地区幹事) 脇田 稔(地区幹事)

アドバイザー 米山 道男(地区幹事) 松本 新(アイワード)

事務局 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会館6F
TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526 E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp

印刷: (株)アイワード TEL241-9341

4月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			02.7.1	03.4.30	増減	内女性	
1	川	4	46	43	-3	2	84.38
	帆	4	47	48	1	1	68.44
	背	4	12	10	-2	0	82.50
	平	4	15	17	2	1	72.06
	計	4	69	68	-1	0	87.23
2	赤	4	189	186	-3	4	78.92
	平	4	37	37	0	1	88.51
	別	4	60	57	-3	0	92.13
	砂	4	61	58	-3	0	92.79
	計	4	108	114	6	2	72.00
3	小	4	266	266	0	3	86.36
	美	4	48	46	-2	0	84.09
	江	4	50	49	-1	2	87.55
	別	4	41	41	0	3	90.00
	計	4	97	102	5	0	89.60
4	岩	4	33	34	1	3	85.30
	見	4	35	33	-2	2	86.85
	山	4	34	33	-1	2	91.79
	当	4	46	46	0	0	91.30
	計	4	384	384	0	12	88.31
5	小	4	120	120	0	0	97.51
	帆	4	19	18	-1	1	100.00
	帆	4	29	29	0	4	77.59
	帆	3	58	57	-1	6	93.21
	計	3	61	61	0	0	76.76
6	帆	4	75	75	0	2	91.67
	帆	4	52	53	1	2	88.08
	帆	4	52	48	-4	0	97.40
	小	4	466	461	-5	15	90.28
	計	3	123	123	0	0	99.41
7	帆	4	26	27	1	5	97.00
	帆	4	88	83	-5	0	100.00
	帆	4	50	48	-2	3	95.96
	帆	4	97	95	-2	0	97.90
	計	4	42	40	-2	1	92.17
8	帆	4	17	18	1	4	78.43
	帆	4	0	21	21	6	81.00
	計	4	443	455	12	19	92.73
	岩	4	37	37	0	0	79.05
	計	4	54	53	-1	4	81.00
9	小	4	96	90	-6	0	92.13
	小	4	86	87	1	0	91.36
	小	4	20	20	0	2	82.50
	小	4	18	18	0	0	62.50
	計	4	49	48	-1	4	87.45
10	小	4	360	353	-7	10	82.28

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,458人
当期末会員数(女性)	3,437(97)人
増加会員数	-21人
当月平均出席率	84.23%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			02.7.1	03.4.30	増減	内女性	
7	千	4	74	74	0	2	87.80
	千	4	33	35	2	0	74.30
	千	4	50	48	-2	0	79.29
	北	3	16	15	-1	2	95.24
	長	4	18	18	0	4	84.60
8	由	4	18	18	0	1	91.60
	小	4	209	208	-1	9	85.47
	え	4	27	27	0	0	86.11
	石	4	20	19	-1	1	92.10
	棟	4	24	23	-1	2	94.30
9	静	5	68	67	-1	0	87.50
	浦	4	41	42	1	1	90.24
	小	4	180	178	-2	4	90.05
	伊	4	53	56	3	0	82.14
	室	4	66	61	-5	0	91.81
10	室	4	56	53	-3	1	94.79
	室	4	52	50	-2	2	71.00
	登	5	40	40	0	2	82.50
	洞	4	14	13	-1	0	86.36
	小	4	281	273	-8	5	84.77
11	函	4	101	102	1	0	74.79
	函	3	51	52	1	1	75.69
	森	4	51	49	-2	0	70.00
	七	4	33	32	-1	0	82.00
	長	4	11	12	1	0	68.75
12	小	4	247	247	0	1	74.25
	江	4	20	20	0	0	66.40
	函	4	71	71	0	0	82.63
	函	4	67	65	-2	5	79.27
	函	4	46	49	3	0	79.26
13	上	4	34	34	0	3	59.90
	松	4	8	9	1	1	67.00
	小	4	246	248	2	9	72.41
	白	4	34	35	1	1	80.00
	吉	4	68	62	-6	0	81.25
14	吉	4	33	33	0	3	85.15
	吉	4	52	48	-4	2	93.14
	小	4	187	178	-9	6	84.89
	小	4	187	178	-9	6	84.89
	計	4	3,458	3,437	-21	97	84.23

6月地区カレンダー

6月		ロータリー親睦活動月間
日	曜日	行事
1	日	第94回国際ロータリー年次大会(オーストラリア、ブリスベン) 日本人朝食会、北海道ナイトパートⅡ
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	ダヤシリさん歓迎会(札幌ガーデンパレス、18:00~)
6	金	
7	土	札幌モーニングRC15周年記念式典(ホテル日航札幌、18:00~)
8	日	会員増強委員会(東京ホテルパシフィック、11:00~)
9	月	
10	火	
11	水	財団学友委員会(札幌ルネッサンスホテル、18:00~)
12	木	
13	金	第4回ガバナー諮問委員会(札幌グランドホテル、18:00~)
14	土	第2グループ会長・幹事会(橘、19:00~)
15	日	新入AG引継ぎ会議(15:00~17:00) 新旧地区委員会委員長引継ぎ会議(札幌アスペンホテル、13:30~)
16	月	第13回ロータリー親睦ゴルフ北海道大会(札幌ゴルフコース輪厚コース)
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	2004-05年度R財団奨学生面接選考試験(ガバナー事務所、9:00~) 第5回ワークショップ(洞爺湖万世閣、14:00~)
22	日	
23	月	GSE委員会(会場未定、18:00~)
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	財団奨学生送別会(札幌グランドホテル、18:00~)
29	日	
30	月	

RIの災害救援は停止

2002年11月、RI理事会は、2003年1月1日付をもって、RIの災害救援活動を停止することを決定しました。以後、RIは公式の災害急報を発行していません。理事会は、援助を求める被災者たちに必需品を配分するには、RIの地区災害救援委員会に比べて経験豊富な国際的救援機関の方がはるかに設備が整っていることで同意しました。2003年1月、ロータリー財団管理委員会は、即時災害救援のためのシェア地区財団活動資金(DDF)災害救援の選択肢を削除することに同意しました。管理委員会は、災害の余波に対する長期的支援を提供するために、既存の人的補助金プログラム(例:マッチング・グラント)を通じた災害救援活動にDDFを使用することを地区に奨励しています。(RI事務総長エド・フタ氏からの書簡より抜粋)

「病気の半分は気です。」なるほど、字で書いたとおり病気は「病」そのものと「気」との二つ合わさったものです。気を楽しみなさい。気が病気をつくるのだから、気を平静にしたら病気は半分治ったも同じです。つまり、病気にところがいかに大事か。

日本語とか中国語には、「気分」、「気持ち」、「短気」というような気を使った言葉が極めて多い。辞書をざっと見ただけでも気が頭にあるか、尾にあるかは別にして五、六十の言葉は楽に見つかる。こころの気だけでなく、「大気」とか「天気」とか気象問題にまで使われることから、東洋人がいかに気ということをいかに好むかがわかる。

英語では病気のことはsickness、illness、diseaseという。Diseaseというeaseつまり楽なものではないのが病気である。illness、sicknessいずれも言葉の中にmindつまり、気というものの存在がない。これは欧米人は病気に気というものを意に介さなかったのだろうか?



ロータリー会員地域紹介

札幌市



札幌市……赤レンガ庁舎とチューリップ

レンガ造りの美しい外観から「赤れんが」の愛称で親しまれている旧本庁舎は、マサチューセッツ州の議事堂をモデルに、明治21年に建てられました。建物内も見学できます。



YOSAKOIソーラン祭り

92年6月、10チーム1,000人の参加者で始まった祭は、「街は舞台だ」を合言葉に急成長。昨年の第11回では151万人の観客が集まりました。

SAPPORO

ご意見・投稿募集

『ガバナー月信』では、より会員の皆様の声を反映させた誌面づくりを行ないたいと考えております。『月信』に関するご意見・投稿などございましたら下記事務局へ。

事務局 札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館6F

TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526

E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp